

◇ 校章への願い



赤 明るく 楽しい 活動的な子どもを（太陽）
青 やさしく 思いやりのある子どもを（川や池）
緑 すこやかで たくましい子どもを（山や木）
・この三つの枠は、「三地域」（西塩田、別所、八木沢）
の結束を表し、
・四角形は、「塩」の結晶を表している。

—原作 大泉智彦氏—

◇ 方位・所在地

○ 東 経	138度10分44秒
○ 北 緯	36度25分53秒
○ 標 高	508m61cm
○ 所在地	〒386-1432 長野県上田市山田476-1 TEL 38-0900 FAX 38-0930 E-mail shiodanishi@sk.ueda.ed.jp

◇ 本校の沿革史

一 完成までの主な経過

平成 5年 11月	造成工事着手
平成 6年 6月	校名が「上田市立塩田西小学校」と決定
平成 7年 9月	校舎棟竣工
平成 8年 3月	竣工式

二 主な沿革

平成 8年度	学校長	沓掛 正季	開校式	児童数 360名
平成 9年度	学校長	西澤 康由	校歌制定	児童数 355名
平成 10年度	学校長	西澤 康由	「体力づくり」中間発表	児童数 348名
平成 11年度	学校長	西澤 康由	第1回 P T A バザー	児童数 343名
平成 12年度	学校長	木内 清	旧西塩田小より土俵移設	児童数 339名
平成 13年度	学校長	木内 清	「ゆめの森」祭り実施	児童数 322名
平成 14年度	学校長	木内 清	校歌制定5周年コカリナコンサート	児童数 309名
平成 15年度	学校長	石田 勝利	環境整い、落ち着いて、「朝読書」	児童数 305名
平成 16年度	学校長	石田 勝利	10周年実行委員会設置	児童数 295名
平成 17年度	学校長	佐藤 悅子	10周年記念事業・記念式典	児童数 286名
平成 18年度	学校長	佐藤 悅子	「子どもの安全を守る会」発足	児童数 280名
平成 19年度	学校長	佐藤 悅子	「ゆめの森」へ桜植樹	児童数 277名
平成 20年度	学校長	佐藤 悅子	情緒障害児学級設立	児童数 276名
平成 21年度	学校長	宮川まゆみ	児童クラブ建設工事完成	児童数 279名
平成 22年度	学校長	宮川まゆみ	15周年記念航空写真撮影	児童数 277名
平成 23年度	学校長	宮川まゆみ	ふるさと体験学習実施	児童数 281名
平成 24年度	学校長	宮川まゆみ	コンピュータ室新規入替	児童数 284名
平成 25年度	学校長	関谷 圭史	体育館天井耐震補強工事	児童数 281名
平成 26年度	学校長	関谷 圭史	ウサギ小屋フェンス新調	児童数 283名
平成 27年度	学校長	関谷 圭史	5.6年教室天井扇風機設置	児童数 275名
平成 28年度	学校長	茨木 信行	特別支援学級増設 3組4組5組に変更	児童数 270名
平成 29年度	学校長	茨木 信行	たつの子祭り 土俵での相撲大会実施	児童数 276名
平成 30年度	学校長	鎌倉 克仁	渡り廊下風雪避けカーテン設置	児童数 270名
令和 元年度	学校長	鎌倉 克仁	普通教室にエアコン設置	児童数 273名
令和 2年度	学校長	鎌倉 克仁	新型コロナ対応で4・5月休校	児童数 252名
令和 3年度	学校長	井上 靖子	1人に1台ずつ端末を配布	児童数 254名
令和 4年度	学校長	井上 靖子	3年ぶりに東京方面へ修学旅行	児童数 245名
令和 5年度	学校長	井上 靖子	コロナ5類へ各行事見直し再開	児童数 218名
令和 6年度	学校長	中村 斎江	全照明 LED化工事	児童数 214名

◇塩田西小学校の教育的背景

一 自然の様子

本校は、塩田平の西部に位置し、**独鉱山・女神岳・夫神岳**の山麓に広がる緑豊かな田園地帯のほぼ中央にある。ここ塩田平は、日本有数の小雨地帯で、付近にはたくさんそのため池がつくられ、稲作づくりの大事な用水として利用されている。また、別所地区・**西塩田地区**には温泉が湧出し、観光地として近年、多数の観光客でにぎわっている。

二 歴史のあらまし

塩田平は、“**信州の学海**”と呼ばれていたように、学問研究が盛んで古くからの文化財の多い地域である。特に塩田北条氏との関係から、この地域は「**国宝安楽寺八角三重塔**」をはじめ、鎌倉・室町時代の神社仏閣が多いことで知られている。そのため、“**信州の鎌倉**”と呼ばれるようになり、日本各地から観光客が来地している。また、信州最古の温泉地として知られる**別所温泉**の歴史は古く、**昔からの湯治場**としても広く知られている。

三 地域の様子

専業農家は少なくなったとはいえ、田畠を持つ家はまだ多く、休日ともなれば子どもたちの手伝う姿も見られる。また、観光地としても有名であり、温泉や史跡文化財等が子どもたちの日常生活に自然にとけ込んでいる。

三世帯家庭が多く、昔からの風習や芸能も残り、四季折々の節目となっている。しかし、近年は、住宅地の造成も増えてきており、セーヌハ木沢のように他県・他郡からの転入で新しい風を吹き込んでいる場所もある。

本校は、「西塩田小学校」と「別所小学校」共に百有余年の歴史をもつ学校であったが、児童数の減少と校舎の老朽化に伴い、**21世紀の少子高齢化・情報化・国際社会を担う児童の育成にふさわしい施設や設備を持った新しい学校**として建設され今日に至っている。本年度で開校30年を迎える。

